

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	11	1	基本事務事業名	人権啓発地方委託事業	事務事業名	人権啓発活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成26年6月20日		
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	三原道弘	シート作成者名	三橋徹也				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画	事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(1)人権尊重社会の確立				<input type="radio"/> 1 該当	平成	年	~	平成	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	(1)人権教育・啓発推進体制の整備				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。									
			今年度	各種講演会の開催・人権擁護委員とタイアップし各行事において啓発物品配布等を行い、市民等の人権意識高揚を図ります。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 人権問題講演会を市内4中学校で開催します。(対象 主に各校生徒)												
	② 啓発物品を購入して、各種行事にて啓発物品を配布しながら、人権意識の高揚を図ります。												
	③ 「人権の花運動」 小学校へ花を贈り、花を栽培することを通し、命の大切さや相手への思いやりを育ませ、豊かな人権感覚を身につかせるため開催します。												
	④ 市職員人権問題研修会を開催します。												
	⑤ 人権相談(市民からの人権に関する相談を受付し対応)												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標					
	人権問題講演会	市内中学校にて開催 開催数・参加人数	回・人	目標	4回・1,500人	4回・1,500人	4回・1,500人	回・1,500					
				実績	4回・1,269人	4回・1,280人							
	市職員人権問題研修会	開催数・参加人数	回・人	目標	4回・150人	4回・150人	4回・150人	4回・150人					
				実績	4回・112人	4回・112人							
	人権の花運動	開催数・参加人数	回・人	目標	1回・150鉢	1回・150鉢	1回・150鉢	1回・150鉢					
実績				1回・150鉢	1回・150鉢								
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 人権対策費			
	直接事業費	平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考					
		国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円						
		県支出金	1,334 千円	1,232 千円	1,032 千円								
		地方債	千円	千円	千円								
		その他特定財源	千円	千円	千円								
		一般財源	千円	千円	千円								
		計(A)	1,334 千円	1,232 千円	1,032 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,981 千円	0.500 人	2,941 千円	0.500 人	2,887 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		4,315 千円		4,173 千円		3,919 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	人権とは、「人が人間らしく生きていくために社会により認められている権利」であり、誰からも犯されることのない基本的人権を保障されています。この事業は社会にとって必要不可欠な事業です。継続して推進することが大切です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	平成20年度から、人権問題講演会を1箇所増やし、市内4中学校で実施しています。人権に関する児童生徒の中から最優秀賞ほかを数年続けて受賞しています。また、市民の関心度が上がる講演会・啓発活動・「人権の花運動」等を実施することで成果が上がっています。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	講演会の参加数については、一般市民の参加が低調だったため、今後はより効果的な広報方法を検討し、より多くの方に参加してもらえよう努めると共に、講師の選択等にも一層努力したいと思っております。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している			<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	各行事実施に当たり、効果的に出来ました。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		
	当面の課題	講演会等につき、より多くの市民・市職員に参加を促し、人権意識の高揚と公務員としての職責を図りたいと思っております。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	人権問題講演会については、市民に対し、ACNの文字放送で周知するとともに、市職員に対し多くの参加を要請します。講演内容について十分検討し、最良の講師を選びたいと思っております。「人権の花運動」については、毎年開催し、小学校児童の豊かな人権感覚を身につけさせたいと思っております。					人権啓発活動は、人権意識の高揚を図るという人々が社会生活する上で最も重要な根幹なすものと思っております。それでいて地味な活動ではありますが、人権擁護委員・社会教育課等との連携を密にし、途切れない事業を実施してください。					
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	2	基本事務事業名	人権擁護委員活動事業	事務事業名	人権擁護委員活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成26年6月20日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原道弘		シート作成者名	三橋徹也			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共に築くまちづくり					実施計画	事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(1)人権尊重社会の確立					<input type="radio"/> 1 該当	平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	(1)人権教育・啓発推進体制の整備					<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。										
			今年度	人権相談所を開設し、市民等の人権を守ります。人権の花運動・人権パレード・街頭啓発等を実施し、市民等の人権意識の高揚を図ります。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 特設人権相談を毎月、市内2会場で2回開催します。													
	② 中学生によるプラカード隊・小学生による鼓笛隊を先頭に、人権擁護委員・市職員・教員が啓発物品を配布しながら、人権啓発パレードを実施します。													
	③ 街頭啓発を量販店で実施。啓発物品を配布しながら、人権啓発を行います。													
	④ 広報車にて、市内を啓発広報。の文字放送・広報誌等に掲載し、市民の人権意識の高揚を図ります。													
	⑤ 「人権の花運動」 小学校へ花を贈り、花を栽培することを通し、命の大切さや相手への思いやりを育ませ、豊かな人権感覚を身につかせるため開催します。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標			
					目標	50回	50回	50回	50回					
	人権相談	毎月市内2箇所で開催	回	実績	38回	41回								
				目標	1回	1回	1回	1回						
	人権パレード	年1回開催	回	実績	1回	1回								
				目標	1回	1回	1回	1回						
人権の花運動	開催数・花贈呈数	回・鉢	目標	1回・150鉢	1回150鉢	1回・150鉢		1回・150鉢						
			実績	1回・150鉢	1回150鉢									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	人権対策費
	直接事業費	平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考						
		国庫支出金	千円	千円	千円	千円								
		県支出金	千円	千円	千円	千円								
		地方債	千円	千円	千円	千円								
		その他特定財源	千円	千円	千円	千円								
		一般財源	337 千円	394 千円	350 千円									
	計(A)	337 千円	394 千円	350 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,981 千円	0.500 人	2,941 千円	0.500 人	2,887 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		3,318 千円		3,335 千円		3,237 千円								

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	人権擁護委員は、法律で設置が義務づけられており、市民の基本的な人権が侵犯された場合には、救済のための支援等に努め、人権思想普及高揚に努めています。人権擁護委員に全力で支援する必要があります。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	人権擁護委員活動を支援することにより、市民の基本的な人権を擁護し、人権意識の高揚を図り、安心した住みよい町づくりが実現します。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	人権擁護委員が特設人権相談を開設していると共に、ボランティアで、学校・保育所関係・社会福祉施設等へ訪問し、積極的に人権意識の普及高揚のため活動をこなしており達成できています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している			<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	阿波市の人権擁護委員は10名と少人数で、阿波市全体を対象に効率的に活躍しています。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			
	当面の課題	平成21年1月13日徳島法務局管内の徳島地区協議会に加盟し、広く多地域の活動を見聞したこと、また活動拠点の事務所的場所(吉野支所北)を提供した事もあり、自主的に、阿波市全体の人権意識の普及高揚のため、全力で活動しています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	事務所を提供した事もあり、自主的に試行錯誤をし、より一層の活動をしています。人権啓発活動のネットワークを図ることからも、人権擁護委員活動と連携強化し、今まで以上の支援が必要と思います。					限られた予算の中で、工夫をこらした人権啓発活動が行われています。今後とも連携を図り、継続した取り組みを行ってください。						
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	3	基本事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	公的関与	6	シート作成日	平成26年7月1日			
	部局名	市民部			課名	人権課		主務課長名	三原 道弘		シート作成者名	松永 建志			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進				<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(2)コミュニティ施設の整備				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		公会堂・老人ルーム条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	各行事・集会のため、会場を提供し交流することで生活を健全で豊かなものとし、社会福祉の増進を図ります。また、台風等災害時に避難場所として提供し、市民の生命を守ります。										
				今年度	各公会堂・老人ルームにおいては、老朽化が進んでおり、破損箇所が多く見られます。各行事・災害避難に安全に使用出来るよう年次的に修繕を行います。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 各施設を訪問・点検すると共に、管理人に修繕箇所等の報告依頼し、修繕箇所を設定します。														
	② 破損箇所の早期発見。														
	③ 施錠等の施設管理。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標		
							目標		300回・2,000人		300回・2,000人		300回・2,000人		
							実績		213回・1,674人		208回・1,640人				
							目標								
							実績								
							目標								
						実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	6・7 公会堂・老人ルーム管理費	
			平成 24 年度決算			平成 25 年度決算			平成 26 年度予算			備考			
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円		千円					
		県支出金		千円		千円		千円		千円					
		地方債		千円		千円		千円		千円					
		その他特定財源		千円		千円		千円		千円					
		一般財源		2,932 千円		2,839 千円		4,868 千円		千円					
		計(A)		2,932 千円		2,839 千円		4,868 千円		千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人	596 千円	0.100 人	588 千円	0.200 人	1,155 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		3,528 千円		3,427 千円		6,023 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	地域の会合や人が交流できる場所を提供することで生活を健全で豊かなものとし社会福祉の増進を図ることが出来るとともに、台風等災害の際、避難場所を市民に提供することで生命を守ることが出来ます。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	修繕により、今まで使用していなかった公会堂を近隣の市民が清掃し使用出来る状態にし今後いろいろの会合に使用すると事例があった。今後、他の利用の少ない施設についても修繕することで利用度が上がります。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	施設が多いため、十分とはいえないが、年次的に修繕し市民の交流と地域の会合の場を提供します。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	予算にあわせ年次的に実施しています。ただ今後の公共施設の管理運営について、財政・市民の行政参加の視点から自主管理運営を検討すべきです。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	施設が多いのですが、老朽化している施設も多く、全館で安全に使用出来るよう破損箇所の修繕が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	安全に使用できるよう年次的に修繕していきます。破損箇所を早めに発見し修繕代を少なくします。使用度を上げるために地域活性化事業等を利用し、講座等開設し市民の利用できる機会を確保します。					地域集会所としての機能、また災害時には避難所としての役目を有している施設もあり、安全に使用できるよう管理に努めてください。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

No.	11	—	4	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	吉野(中央・一条)ふれあい会館基本事業	公的関与	6	シート作成日	平成26年6月25日	
部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原 道弘		シート作成者名	近藤 侑香		
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
	<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画	事業の開始・終了					
	基本計画(施策)	(1) 人権尊重社会の確立			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし
	主要施策	(3) 隣保館事業の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(周辺地域住民)										
	目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	地域社会全体の中で福祉の向上や、人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、各種相談事業や人権問題の解決のための各種事業を総合的に行うことを目的としています。									
		今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」拠点施設としての多様性を踏まえた隣保館活動を運営していきます。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 各種相談事業(職業相談・健康相談・生活相談・人権相談・教育相談)											
	② 地域交流事業(子ども会活動・俳句同好会・将棋教室・書道教室・日本舞踊・パッチワーク教室・墨絵教室・カラオケ・料理教室・国際交流・健康器具活用)											
	③ 啓発・広報活動(館だより発行・平和パネル展・講演会外)											
	④ 地域福祉事業(食生活改善事業・生活環境改善事業・ボランティア活動・独居老人訪問)											
	⑤ 施設利用者の充実											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標		
				目標	17000	17000	18000					
	施設利用	年間延べ利用者数	人	実績	13760	16939						
				目標	5000	6000	8000					
	地域交流事業	年間参加延べ人数	人	実績	5347	7973						
				目標	12	12	12					
広報活動事業	年間実施回数	回	実績	6	6							
			目標									
D O	予算費目	会 計	一般会計		款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	5 隣保館管理費
	直接事業費	平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考				
		国庫支出金	千円	千円	千円	人件費(B)						
		県支出金	3,839 千円	3,958 千円	3,455 千円	館長:2名						
		地方債	千円	千円	千円	職員:1名						
		その他特定財源	千円	千円	千円	臨時:3名						
		一般財源	2,902 千円	3,497 千円	4,167 千円							
	計(A)	6,741 千円	7,455 千円	7,622 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	1.000 人	5,774 千円				
		臨時・嘱託職種	隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長					
		臨時・嘱託工数・経費	6.000 人	10,800 千円	6.000 人	10,800 千円	5.000 人	9,000 千円				
	全体事業費(A+B)		17,541 千円		18,255 千円		22,396 千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価							
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	各種相談事業に取り組んでいます。定期相談として健康相談は高齢者の健康管理役立っています。職業相談も厳しい経済情勢の中、失業者には必要不可欠となっております。地域交流の場として多くの利用者が各講座に参加し交流の輪を広げています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	地域住民にとって交流の拠点として、気軽に利用できる開かれたコミュニティー施設として有効です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	健康相談は相談者が多く健康管理意識が高まっています。また、職業相談も毎回来館者が相談にきます。各種講座等への地域住民の参加を促すことにより、各種事業が達成できています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	住民相互の理解と交流が深まることによって、住民一人一人の人権意識が高まり他人の人権を尊重する意識が育まれています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	周辺地域を含めた地域づくりや住民の自主活動の支援や育成を図り、住民各層の連帯と交流の場として位置づけることが大切です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	日常の具体的な行事についても、参加者と協力を得ながら効果的に実施します。					限られた人員ではありますが、地域住民のニーズの把握に努め、地域に根差した取り組みに今後も努力してください。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

No.	11	—	5	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	吉野柿原ふれあい会館基本事業	公的関与	6	シート作成日	平成26年6月25日		
部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原 道弘		シート作成者名	近藤 侑香			
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
	<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等						
総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画	事業の開始・終了						
	基本計画(施策)	(1)人権尊重社会の確立				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成	年	～	平成	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし	
	主要施策	(3)隣保館事業の充実				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等						
事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(周辺地域住民)											
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、地域社会に密着し各種相談事業を総合的にを行い、人権問題に対する活動、解決することを目的としています。										
		今年度	これまで長年実施してきた事業を引き続き行う必要性とニーズを大切にしながら、昨今の急速な情報化の進展や社会情勢の変化に対応した事業を運営していきます。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 各種相談事業(職業相談・健康相談・生活相談・人権相談・教育相談)												
	② 地域交流事業(生花教室・書道教室・硬筆教室・ヒップホップダンス・ヘルスケア講座・館まつり・世代間交流)												
	③ 啓発、広報事業(館だより発行・人権啓発ビデオ・人権パネル展)												
	④ 地域福祉事業(独居高齢者訪問)												
	⑤ 施設利用者の充実												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標			
				目標	2500	2500	2500						
	施設利用	年間延べ利用者数	人	実績	2212	2103							
				目標	1000	1000	1000						
	地域交流事業	年間参加延べ人数	人	実績	887	831							
				目標	15	15	15						
広報活動事業	年間実施回数	回	実績	15	15								
			目標	15	15	15							
D O	予算費目	会 計	一般会計		款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
	直接事業費	平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考					
		国庫支出金	千円	千円	千円	人件費(B)							
		県支出金	1,702 千円	1,665 千円	2,452 千円	館長:1名							
		地方債	千円	千円	千円	臨時:1名							
		その他特定財源	千円	千円	千円								
		一般財源	2,110 千円	1,838 千円	1,197 千円								
	計(A)	3,812 千円	3,503 千円	3,649 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	5,961 千円	1.000 人	5,882 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時・嘱託職種	隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長						
		臨時・嘱託工数・経費	2.000 人	3,600 千円	2.000 人	3,600 千円	2.000 人	3,600 千円					
	全体事業費(A+B)		13,373 千円		12,985 千円		7,249 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	相談事業をはじめ、啓発、広報や文化活動を実施しており、地域住民の活動拠点としての役割を果たす必要な場となっています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	類似した事業はあるが、地域住民にとって、身近な施設であり相談、交流事業に利用しやすくなっているため、コミュニティの場として有効と考えられます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	館まつり、地域交流事業では多数の参加、協力をいただき地域に根付いた事業ができていますが、他の目的での来館者はあまりない状態です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	小学校、中学校、高校、ぽあわーあつぷ、NPOとの連携で効率的に運営しています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
	当面の課題	広く、人権に関する理解を深めるため、啓発、広報活動を行い、市民(地域住民)に有効な活用が望まれます。住民のニーズに応え、児童向けの講座を継続していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	開かれたコミュニティセンターとしての運営をしていくため、対外的な交流を密にし、広報の有効活用により多くの参加者を増やし人権問題の解決をめざします。					地域に根差した、地道な活動がなされています。その活動のますますの広がりを期待しています。少ない人員ではありますが頑張ってください。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

No.	11	—	6	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	市場文化会館基本事業	公的関与	6	シート作成日	平成26年7月1日
部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原 道弘		シート作成者名	松永 建志	
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的業務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
	<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画	事業の開始・終了				
	基本計画(施策)	(1) 人権尊重社会の確立			<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
	主要施策	(3) 隣保館事業の充実			<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等					
事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(周辺地域住民)									
	目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	人権尊重社会を確立する為、周辺地域とのふれあい交流と相談事業に取り組み、相談に応じると共に自立支援の適切な指導を行い、誰もが気軽に利用できる幅の広い交流の場として稼働率の向上を図ります。								
		今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」の拠点施設としての推進を図ることが大きな役割です。								
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)										
	① 各種相談事業(職業相談・人権相談・生活相談・教育相談)										
	② 地域交流事業(生花・硬筆書道・ビジョンヨガ講座・カラオケ・ぱあわーあっぷ・人権問題学習会(水友会・ひよこの会)・館まつり)										
	③ 啓発・広報活動(パネル展・啓発講演・館だよりの発行)										
	④ 地域福祉事業(独居老人交流会)										
	⑤ 施設利用の充実(親子会・外国人研修会・スポーツ少年団交流会・退公連本部役員会・地域資源保全隊・音楽練習ほか)										
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	施設利用	指標名	計算式又は指標設定理由	単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
		年間延べ利用者数	人	目標	7,500	7,500	7,500				
	地域交流事業	年間参加延べ人数	人	実績	4,997	5,580					
		目標	1,800	2,000	2,000						
	広報啓発事業	年間実施回数	回	実績	1,858	1,688					
		目標	12	12	12						
実績	12	12									
予算費目	会 計	一般会計		款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	5 隣保館管理費		
D O	直接事業費	平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考			
		国庫支出金	千円	千円	千円	人件費(B)					
		県支出金	1,967 千円	1,926 千円	3,156 千円	平成25年度まで: 館長1名・職員1名					
		地方債	千円	千円	千円						
		その他特定財源	千円	千円	千円						
		一般財源	2,384 千円	2,696 千円	1,391 千円	平成26年度: 館長1名・臨時1名					
	計(A)	4,351 千円	4,622 千円	4,547 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	1,000 人	5,961 千円	1,000 人	5,882 千円	0.050 人	289 千円			
		臨時・嘱託職種	隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長				
		臨時・嘱託工数・経費	1,000 人	1,800 千円	1,000 人	1,800 千円	2,000 人	3,600 千円			
全体事業費(A+B)	12,112 千円		12,304 千円		8,436 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	隣保館の主軸的事业は相談事業であり、館として地域の繋がりが、各行政との連携が大切です。館でも就職困難の中、無事職場を紹介することは、嬉しく思います。これからも地域に密着した施設として必要性は大きいです。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	地域交流事業を通して、地域住民にとって気軽に利用できるコミュニティ施設として利用者数も増え、外国人研修の場として、又インターナショナル的な交流の場として有効です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	地域交流事業は講座生も多く、ばあわーあつぷとコラボして、研修会等を実施しています。又館を知って頂き、館へ来て頂くことを目指して館まつりを実施し、数多くの方に参加して頂き、目的を十分に達成出来ています。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	小学校(ばあわーあつぷ)との連携、保護者会又ひよこの会・水友会(人権問題研修会)等の利用により人権意識が高まり、他人の人権を尊重し、効率的に運営していると考えられます。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	地域住民の実態・ニーズを十分把握し、住民各層との連携と交流の場として位置づける必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	講座以外に、カラオケ等の憩いの場・健康づくりのためのマッサージ機等利用などの事業を行う中で、もっと開かれた館づくりを目指します。					事業にも工夫を凝らしながら、地域住民の利用拡大並びに交流にじみちではありますが努力されています。限られた人員で大変とは思いますが、期待しています。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

No.	11	7	基本事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	公的関与	6	シート作成日	平成26年7月1日	
部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	三原 道弘		シート作成者名	松永 建志		
事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
	<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
総合計画	基本構想(政策)	4. 生活基盤の充実したまちづくり		実施計画	事業の開始・終了						
	基本計画(施策)	(2)住宅施策の推進		<input type="radio"/> 1 該当	平成 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	主要施策	(2)良質な住宅建設の促進		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	住宅新築資金等貸付に係る経過措置に関する条例					
事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	住宅新築資金等貸付借入者									
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	貸付金全ての償還								
		今年度	償還率向上のための徴収強化								
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)										
	① 滞納徴収(催告書発送・電話催告・訪問徴収)										
	② 消し込み(徴収原簿・償還台帳)										
	③ 補助金申請(補助金申請事務)										
	④ 実績報告書作成										
	⑤ 貸付事業償還状況調書作成										
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
	貸付事業償還額	住宅新築資金等償還額(現年度)	円	目標	2,200,000	1,200,000	1,200,000				
				実績	1,256,782	756,936					
	貸付事業償還額	住宅新築資金等償還額(過年度)	円	目標	3,500,000	3,500,000	3,500,000				
				実績	2,192,386	2,913,896					
				目標							
			実績								
予算費目	会 計	一般会計		款	1 貸付事業	項	1 償還事務	目	1 償還事務		
D O	直接事業費	平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考			
		国庫支出金	千円	千円	千円						
		県支出金	70 千円	1,725 千円	1,570 千円						
		地方債	千円	千円	千円						
		その他特定財源	3,449 千円	3,670 千円	1,189 千円						
		一般財源	1,237 千円	2,739 千円	1,199 千円						
	計(A)	4,756 千円	8,134 千円	3,958 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.900 人	5,365 千円	0.900 人	5,293 千円	0.900 人	5,197 千円			
臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円				
全体事業費(A+B)		10,121 千円		13,427 千円		9,155 千円					

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	貸付事業の償還事務であり、償還の約定期間中のため廃止できません。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	償還中の貸付事業のため事業は継続になります。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	目標設定に達しておりません。今後は徴収強化が必要です。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	システム導入により管理コスト削減は見込めますが導入コストとの費用対効果は見込めません。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 1	効率性 1	総合評価 B	必要性 4	有効性 4	達成度 1	効率性 1	総合評価 B	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		
	当面の課題	滞納者の返済意識が欠如しているため、償還に向けて意識の返還を図り償還率向上を図ります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	滞納整理を考える上で手法の変更など行います。法的措置が必要な場合は法律の専門家に委託することになります。					なお、一層の収納強化を図ってください。					
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

No.	11	—	8	基本事務事業名	男女共同参画推進事務	事務事業名	男女共同参画推進事務	公的関与	1	シート作成日	平成26年7月5日	
部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原道弘		シート作成者名	三橋徹也		
事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
	<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共に築くまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
	基本計画(施策)	(2)男女共同参画社会の形成		<input type="radio"/> 1 該当		平成 19 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	主要施策	(2)男女共同参画社会への意識改革の推進		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	男女共同参画社会基本法					
事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民、行政、企業、市民団体										
	目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	広報・啓発活動や学校教育、生涯学習など様々な場を通じ、男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直しや意識改革を推進し、男女共同参画社会の実現を図ることを目的とします。									
		今年度	男女共同参画社会への意識改革を推進します。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 講演会の開催											
	② 広報誌での啓発活動											
	③											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標				
	「男女共同参画社会」という用語の周知度	阿波市男女共同参画基本計画数値目標より(平成21年度~)	%	目標	100	100	95	100				
				実績		33						
	「男女雇用機会均等法」という用語の周知度	"	%	目標	100	100	95	100				
				実績		54						
	「DV防止法」という用語の周知度	"	%	目標	100	100	95	100				
実績					68							
予算費目	会 計	一般会計		款	2 総務費		項	1 総務管理費		目	6 企画費	
D O	直接事業費	平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考				
		国庫支出金	千円		千円		千円					
		県支出金	千円		千円		千円					
		地方債	千円		千円		千円					
		その他特定財源	千円		千円		千円					
		一般財源	251 千円		4,742 千円		951 千円					
	計(A)	251 千円		4,742 千円		951 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	596 千円	0.100 人	588 千円	0.100 人	577 千円				
		臨時・嘱託職種										
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円				
全体事業費(A+B)		847 千円		5,330 千円		1,528 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
							少ない	大きい					少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	男女共同参画社会の形成の促進を図るために必要な事業です。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	男女共同参画意識の高揚を図るためには有効な事業です。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	啓発事業を増やし意識の高揚を図らねければならないと思われませんが、現時点での人員では概ね達成していると思います。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない					<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している					<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	今後男女共同参画の形成の促進を図っていくには、男女共同参画担当職員を配置するなどの人員確保が必要と思われます。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	男女が対等に社会参加し、共に役割や責任を分かち合える社会を築いていくための施策を推進するには、環境・条件等の整備が必要と思われます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	第2次基本計画どおり、事業を進めます。					基本計画も策定されいよいよ実施に移るわけですが、人権啓発、社会教育課の事業とも重複する部分があると思います。関係課とも協議をし、効率よく事業を実施してください。							
	委員会指摘事項													